

# 2019 年度環境省予算案

## 重点施策(環境再生・資源循環局関係 一部抜粋)

### 環境省

環境省が 2018 年 12 月に公表した 2019 年度環境省重点施策について、環境再生・資源循環局に関連するものを一部抜粋しました。

#### 1 生活の質を向上する「新たな成長」に向けた政策展開

##### (1) 持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築

① 我が国として率先して対策に取り組むべく、「プラスチック資源循環戦略」も踏まえ、使い捨て容器包装等のリデュースや再生可能資源（紙、バイオプラスチック等）への代替の促進、国内資源循環体制の構築及び資源循環関連産業の振興に取り組むとともに、幅広い関係主体の自主的取組・連携協働を一体的に促進することにより、海洋プラスチックごみの発生抑制等を総合的に推進する。

【主な措置の例】 (金額は百万円単位)

- ・容器包装等のプラスチック資源循環推進事業費 215 ( 80)
  - ・(新)脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業【エネ特】 3,500 ( 0)
  - ・省 CO<sub>2</sub> 型リサイクル等高度設備導入促進事業【エネ特】 3,330 (1,500)
- (30 年度 2 次補正 : 6,000)

④ ブロックチェーン、IoT、AI 等のデジタル技術を活用することにより、脱炭素社会の構築や資源生産性の更なる工場といった課題の解決に向け、新たなビジネスの創成・普及を図る。

【主な措置の例】 (金額は百万円単位)

- ・(新) 先端的な情報通信技術等を活用した廃棄物処理システム低炭素化支援事業【エネ特】 60 ( 0)

##### (2) 国土のストックとしての価値の向上

② 廃棄物処理施設の整備や自立・分散型エネルギーシステムの構築を進めるとともに、大規模災害に備えた万全な災害廃棄物処理体制の構築や災害廃棄物の円滑・迅速な処理を図ること等により環境施策を通じた国土強靱化への対応に取り組む。

【主な措置の例】 (金額は百万円単位)

- ・大規模災害に備えた廃棄物処理体制検討事業 341 ( 325)
- (30 年度 2 次補正 : 564)

##### (4) 健康で心豊かな暮らしの実現

① ビッグデータ分析等を活用して行動変容を促す情報発信（ナッジ）等による温室効果ガス削減のためのモデル構築や、食品ロス対策、森里川海プロジェクトの展開等に取り組む。持続可能なライフスタイルへの転換を加速する。

【主な措置の例】 (金額は百万円単位)

- ・食品廃棄物等リデュース・リサイクル推進事業費 93 ( 70)

##### (5) 持続可能性を支える技術の開発・普及

② 電気自動車 (EV) の普及拡大に備えた電池のリユース・リサイクル技術の開発・実証や、燃料電池バス等の次世代自動車の普及に取り組む。また、世界的な潮流である自動車 CASE<sup>7</sup> の視点を踏まえ、地産地消エネルギーの利用拡大を見据え、地域全体での脱炭素型交通モデルを構築する。

【主な措置の例】 (金額は百万円単位)

- ・省 CO<sub>2</sub> 型リサイクル等設備技術実証事業【エネ特】 500 ( 500)

##### (6) 国際貢献による我が国のリーダーシップの発揮と戦略的パートナーシップの構築

② 「インフラシステム輸出戦略 (平成 30 年度改訂版)」及び「海外展開戦略 (環境)」(いずれも 2018 年 6 月 7 日経協インフラ戦略会議)を踏まえ、二国間クレジット制度(JCM)による脱炭素技術の海外展開をはじめ、資源循環、水環境、大気汚染対策といった各分野において、環境インフラ海外展開の更なる推進を図る。

【主な措置の例】 (金額は百万円単位)

- ・環境国際協力・インフラ戦略推進費 (再掲) 327 ( 190)
- ・我が国循環産業の戦略的国際展開・育成事業 404 ( 350)
- ・我が国循環産業の戦略的国際展開による海外での CO<sub>2</sub> 削減支援事業【エネ特】 253 ( 253)

### 3 東日本大震災からの復興・創生

#### (1)被災地の環境再生に向けた取組の着実な実施

- ①中間貯蔵施設について、用地取得・施設整備・搬入の流れを着実に進める。同時に、仮置場の跡地について円滑に原状回復を行い返地を進めていく。また、引き続き除去土壌等の再生利用に向けた取組を進めていく。

【主な措置の例】 (金額は百万円単位)

- ・中間貯蔵施設の整備等【復興特】

208,127 (279,902)

- ・除去土壌等の適正管理・搬出等の実施【復興特】

118,686 (121,212)

- ②認定された特定復興再生拠点区域復興再生計画に沿って、帰還困難区域の特定復興再生拠点区域内における家屋等の解体・除染を着実に実施する。

【主な措置の例】 (金額は百万円単位)

- ・特定復興再生拠点整備事業【復興特】

86,941 (69,037)

- ③被災地の指定廃棄物等の処理を着実に推進する。

【主な措置の例】 (金額は百万円単位)

- ・放射性物質汚染廃棄物処理事業等【復興特】

105,383 (145,542)

#### (2)新たなステージに向けた、被災地の産業・まち・暮らしの創生

- ①被災地の復興に貢献すべく、地域の再生や産業の創生といった視点を大切にしながら、脱炭素、資源循環を基軸とした先導的なモデル事業を推進するとともに、自然資源を活用した復興プロジェクトの推進に取り組む。

【主な措置の例】 (金額は百万円単位)

- ・脱炭素・資源循環「まち・暮らし創生」FS事業

【エネ特】 400 (200)

- ・省CO<sub>2</sub>型リサイクル等高度設備導入促進事業【エネ特】

(再掲) 3,330 (1,500)

(30年度2次補正:6,000)

- ・低炭素型廃棄物処理支援事業【エネ特】 2,000 (2,000)

- ・省CO<sub>2</sub>型リサイクル等設備技術実証事業【エネ特】(再掲)

500 (500)

### 4 循環型社会の形成・資源循環イノベーション

#### (1)イノベーションの実装による国内での資源循環の促進

- ①地域のエネルギーセンターとしての廃棄物処理施設の機能強化等、資源循環の側面から地域循環共生圏の構築を図る。

【主な措置の例】

(金額は百万円単位)

- ・(新)地域に多面的価値を創出する廃棄物処理施設整備促進業務

22 (0)

- ②「プラスチック資源循環戦略」に基づく施策展開、家庭系食品ロス削減に向けた国民運動の展開、メダルプロジェクトの機運を活かした都市鉱山の有効利用、太陽光パネルの適正なりサイクルシステムの構築に向けた検討、紙おむつリサイクルの推進に向けたガイドラインの策定等、ライフサイクル全体での徹底した資源循環を押し進める。

【主な措置の例】

(金額は百万円単位)

- ・容器包装等のプラスチック資源循環推進事業費(再掲)

215 (80)

- ・(新)脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業【エネ特】(再掲) 3,500 (0)

- ・省CO<sub>2</sub>型リサイクル等高度設備導入促進事業【エネ特】(再掲)

3,330 (1,500)

(30年度2次補正:6,000)

- ・低炭素型廃棄物処理支援事業【エネ特】(再掲)

2,000 (2,000)

- ・食品廃棄物等リデュース・リサイクル推進事業費(再掲)

93 (70)

- ・リサイクルシステム統合強化による循環資源利用高度化促進事業

262 (237)

- ③汚水処理事業のリノベーション、廃棄物処理業者における人材の確保・育成等にも取り組み、適正処理の更なる推進と循環産業全体の健全化及び振興を図る。

【主な措置の例】

(金額は百万円単位)

- ・産業廃棄物処理業のグリーン成長・地域魅力創出促進支援事業

145 (100)

### 6 環境リスクの管理

#### (1)地域・暮らしを支える廃棄物対策

- ①PCB廃棄物処理基本計画に基づき、高濃度PCB廃棄物の適正かつ着実な処理の実施を進めるとともに、低濃度PCB廃棄物についても新たな処理方式を含め処理の推進を図る。

【主な措置の例】

(金額は百万円単位)

- ・PCB廃棄物の適正な処理の推進等

5,820 (6,336)

(30年度2次補正:2,322)